

令和2年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	保護者や地域・大学の人材を活用した 新しい子育て支援のカリキュラム開発
事業実施代表者名	藤 谷 毅 附属函館幼稚園 副園長
実施附属学校名	附属函館幼稚園
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>附属函館幼稚園では、平成22年度に全国の国立附属学校では初となる預かり保育を開始して以来、園のスタッフや保護者・地域・小学校・大学の人材などが協力して、「預かり保育」や「子育て支援事業」を展開することによって、「通常の保育活動」と「預かり保育活動」の有機的な連携を図り、その教育効果を高めることや、保護者の互助によるより豊かな子育て支援の場と経済性を兼ね備えた新しい「預かり保育」の形態を次の4つの場として提案し、事業を展開してきた。</p> <p>①「家庭生活との連続性を考えながら、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で過ごすことができる場」</p> <p>②「教育課程に関わる保育時間や家庭では経験できない活動、かかわりを体験することができる場」</p> <p>③「子育てに関する情報を得、保護者同士が気軽に相談でき、保護者の子育てを具体的に支援する場」</p> <p>④「保護者を含む地域の人的資源を活用することにより、在園児全員の成長にかかわる連携的意識を醸成する場」</p> <p>この場において、</p> <p>○「わくわくの日」－異年齢の友だちとともに好きな遊びをしながら、家庭的な雰囲気ですごす日</p> <p>○「イベントの日」－お母さん先生や外部講師の方などが来て、事前に企画した楽しい活動をして過ごす日</p> <p>○「講座の日」－外部講師が来て、何回かにわたり、子どもが楽しく取り組みながら習い事をする日</p> <p>○「学生企画の日」－本学のゼミ生や部活動・サークルなどの学生が、教育課程外の企画をし、園児と交流する日</p> <p>の4つの具体的な形態を作って預かり保育を行ってきた。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延予防の観点より、活動場所を絵本部屋から遊戯室という保育スペースの拡充を図ったり、外部講師の人数を制限したりするなど、年度途中から活動が大きく制限された部分はあったが、その状況に最大限対応できるような形を変えるなど趣向を凝らし、行事による振替休園日を含め、毎日預かり保育を実施している。</p>

<p>成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)</p>	<p>成果としては、毎朝・毎日及び夏季休業・冬季休業・年度末休業にも実施し預かり保育の充実をはかった。新型コロナウイルス感染予防のための臨時休園期間を含め総回数約200回以上、のべ3100人以上の園児が参加し、1回あたりの平均が15人、最大時には約40人以上の参加があった。就業者にとっては待望の毎日の預かり保育実施となった。今年度は新型コロナウイルス感染予防のため大学の学生と教員が企画したゼミ生による預かり保育の学生企画を「お家であそびっこ」として、通常預かり保育を利用しない家庭に対しても預かり保育の遊誘材を提供し、園児と保護者に好評を得た。例年行っていたその他、大学ダンス部のよさこい講座や外国人の先生による中国語は、今年度は実施出来なかったが、サッカー部のサッカー教室や外国人の先生と英語で遊ぶ講座、科学ショーなどは函館での感染が急増するまでは数回実施し、好評を得ていた。習字を書く「もじあそび」では外部講師画が制限されるようになってからは、預かり保育担当保育者が講師となって実施していた。その他、「おとあそび」「パソコンあそび」も行われ、園児はより多様な体験を教育課程外に園内で経験できるようになった。</p> <p>これらの取り組みを、保護者のニーズを捉えながら、さらに新型コロナウイルス感染症蔓延予防対策を念頭に置きつつ、幼児教育の無償化に対応できる質・量ともに充実した預かり保育の充実を図っていきたい。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>昨年度から朝預かり・延長預かり・長期休業中も含む毎日の預かりが完全実施となった。子育て支援の見地からは、就業者のニーズに応じることが実質上可能となっている。これにより、預かり保育利用者数が急増しており、預かり担当教諭の確保が必要になってくる可能性が出てきている。また、教育課程内の教諭と預かり保育担当の非常勤講師との打ち合わせや引継ぎをより綿密にしていく必要性も高まっている。さらに、時間や回数の面でニーズを捉えて常に改善していく必要がある。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>HPで公開 園児募集ポスターで紹介 園児募集案内で紹介 体験入園時に説明</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。